

中島郡

〔三代實錄四清和〕貞觀二年閏十月廿五日辛未太政官論奏、美濃國惠奈郡人縣萬歲麻呂殺百姓三人、法官斷罪當斬刑、詔減死一等處之遠流、

〔郡名考〕美濃 中島 ナカシマ

〔張州府志十中島八郡〕建置沿革 諸書作中島郡○中此郡天正十二年亦半割隸于濃州、

〔新撰美濃志一美濃二十一郡〕中島郡は羽栗郡の西南の方にありて、北より未申の方へ尖りたる地なり、東南は木曾川を隔て、尾張國の中島郡に隣り、西は安八郡に至り、北は羽栗郡を擧とす、是ももと尾張の地なりし事、羽栗郡に同じ、和名類聚抄に尾張國中島奈加之萬と見え、其外の古書どもにもみな尾張の國の郡名なるよしいへり、○中高一萬二千六百九十四石五斗三升六合、三十ヶ村、古高帳には、一万千八百六十八石餘、二十ヶ村五ヶ村とし、新高帳には、三十五ヶ村とす。

〔郡名考〕美濃 海西 カイサイ

〔張州府志二海西六郡〕建置沿革 古爲海部郡、中古割爲東西二郡、天正中豐臣太閤割河以西隸于濃州、

○下略

〔新撰美濃志一美濃二十一郡〕海西郡は安八郡の南にありて、北より南へ細くながし、東は木曾川を隔て、尾張國の海西郡に隣り、南西は石津郡に亘り、西北は安八郡を擧とす、むかじは尾張の地なり、じよしは羽栗郡にいへるが如し、往古尾張の海部郡といひしを今より六七百年以前にわかつて二郡とし、東を海東、西を海西と名づけしとぞ、和名類聚抄に尾張國海部阿未と見えたり、○中高一萬千六百九十四石六斗一升二合、二十八ヶ村、古高帳には、一万千三百三十一石餘、二十二ヶ村五ヶ村とし、新高帳には、二十九ヶ村とす。

〔郡名考〕美濃 羽栗 ハクリ

〔張州府志十葉栗郡〕建置沿革 延喜式其餘諸書皆作葉栗郡、又作羽栗郡、古者踰河西隸于葉栗郡、以墨股河爲界、天正十二年秀吉擊尾州取河西諸邑、其後與信雄和、遂割河西隸于濃州、蓋懼神祖西

羽栗郡

海西郡